



100% 手作りのお世話®



成婚率の高さが決め手!!
 ネットを使わず、すべて手づくり100%の誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご提案により、無駄のないご紹介を実施しています。ご成婚重視と、プライバシー厳守のため、自社会員のみのご紹介をいたしております。

結婚物語

恋のさじ加減

「断られてもいい。とことん付き合いたい一息子はしばらく考えてこう申しました。至極明瞭な口ぶりで、迷いはないようでした。お母様からのご報告をいただき私も決心しました。もうしばらく見守ろうかと…」
 → 続きはWebで [Em Road 結婚](#)

大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第55巻第6号

発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX
072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数
安藤嗣彦 6,300部

URL
<http://www.jinsenkai.net>



猛暑を超えて、
ほっと一息。

産業医講習会開催のご案内
令和7年度学術集会助成申請について

Marriage Road 結婚

資料無料 •ドクターズ •エグゼクティブ •スタンダード 各コース

0120-4122-46 10:00~18:00 水曜定休

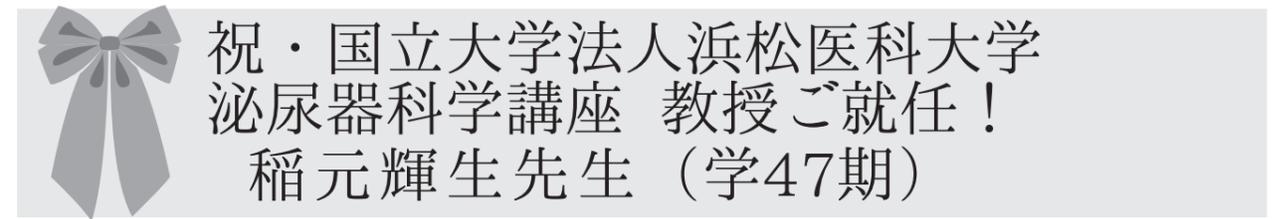
大阪本社 事務局 〒530-0043 大阪市北区天満3-2-2 エムロードビル3F

Em Roadはここが違います

- 1 成婚率の高さ
- 2 質の高い会員層
- 3 専任アドバイザーによる一貫したお世話
- 4 自社会員のみ構成
- 5 個人情報のパーフェクト・プロテクション

目次

P3	祝・国立大学法人浜松医科大学泌尿器科学講座 教授ご就任！	稲元輝生先生	(学47期)
学会報告			
P4	第14回 日本低侵襲・内視鏡脊髄神経外科 学会を終えて	高見俊宏	(特別期)
P6	第32回硬組織再生生物学会学術大会・ 総会を終えて	井上和也	
支部だより			
P7	京都仁泉会 音楽の夕べ	森本博子	(学24期)
P8	仁泉会松原市支部会開催報告	可見弘行	(学45期)
P9	令和6年仁泉会広島県支部総会・懇親会報告	貞岡達也	(学35期)
P10	仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会のご案内		
クラス会だより			
P11	学部14期同窓会(36会)開催報告	児玉 隆	(学14期)
仁泉ひろば			
P12	大阪医科薬科大学 競技スキー部 創部70周年記念祝賀会	新井基弘	(学36期)
寄稿			
P14	下咽頭がんで声を失ったりハ医が、 がんと共存していくと思えるまで ～生きていくには社会参加が必要だ！～	太田利夫	(学31期)
開業情報			
P16	開業しました！	大野克記先生	(学48期)
P18	開業しました！ 開業しました！ 開業しました！	平岡やよい先生 野村昇平先生 井手健太郎先生	(学47期) (学54期) (学59期)
P19	冊子切抜	刈谷隆明先生	(学22期)
P20	会員著書	井尻慎一郎	(学31期)
P21	会員著書	瀧谷公隆	(学38期)
P22	新聞切抜	田村 功先生	(学31期)
P23	新聞切抜	上迫隼太先生	(学65期)
P24	まんが第70回	ザ・ぼん太	(学31期)
本部だより			
P26	仁泉会三者懇談会 開催報告	安藤嗣彦	(学20期)
P28	会員計報		
P30	編集後記 令和7年度仁泉会学術集会助成申請について		



ご挨拶

文責／稲元輝生（国立大学法人浜松医科大学
泌尿器科学講座 教授 学47期）

令和6年（2024年）9月1日付で国立大学法人浜松医科大学泌尿器科学講座教授を拝命いたしました。

私は大阪医科大学を平成10年（1998年）に卒業し、直ちに大阪医科大学泌尿器科に入局いたしました。大阪医科大学附属病院・大阪府済生会茨木病院で研修を重ね平成16年（2004年）4月からは東京大学医科学研究所で基礎研究に取り組みました。平成18年（2006年）11月からは、米国テキサス州にあるMDアンダーソンがんセンターに留学し尿路上皮癌の基礎研究に没頭しました。大学に帰学してからの15年は病棟医長や外来医長として手術指導や安全管理に関わってきました。私の臨床の専門は低侵襲手術と臓器温存です。浜松医科大学の泌尿器科学講座はロボット補助下手術に積極的に取り組んでいます。現在年間200件以上に上るロボット補助下手術に取り組んでいて米国のダビンチだけではなく日本製のhinotoriを用いた手術に取り組んでいます。おそらく腎臓のhinotoriを用いた手術件数は全国のDPC掲載病院でトップ5%に入る件数とおもいます。今後は臨床の実践を礎として教室員の興味を臨床研究と基礎研究にひろげるためにサージャンサイエンティストのマインドを涵養する教室作りに取り組めます。



稲元輝生先生ご経歴

- H 4年 3月 兵庫県立兵庫高等学校 卒業
- H10年 3月 大阪医科大学 卒業
- H13年 5月 恩賜財団 大阪府済生会茨木病院
- H16年 4月 東京大学医科学研究所 先端医療センター 客員研究員
- H16年 9月 北里大学 臨床薬理研究所 治験担当医師
- H18年11月 M.D. Anderson Cancer Center 泌尿器科ポストドクトラルフェロー
- H19年 3月 学位取得（医学博士）
- H20年 5月 大阪医科大学泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室 助教
- H21年 4月 大阪医科大学付属病院 病棟長
- H23年 4月 大阪医科大学付属病院 外来長
- H24年 4月 大阪医科大学泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室 講師
- H26年 4月 大阪医科大学 泌尿器科学教室 診療准教授
- H28年 9月 大阪医科大学（R3大阪医科薬科大学） 泌尿器科学教室 准教授
- R 6年 9月 国立大学法人浜松医科大学 泌尿器科学講座 教授

ご連絡先
Email : t-ina1@hama-med.ac.jp
TEL : 053-435-2306
FAX : 053-435-2305

学会報告 ● ● ●

第14回 日本低侵襲・内視鏡 脊髄神経外科学会を終えて

文責／大阪医科薬科大学医学部外科学講座
脳神経外科学 特務教授 高見俊宏（特別期）

この度は第14回日本低侵襲・内視鏡脊髄神経外科学会の開催にあたり、仁泉会様から助成を賜り、心より感謝いたします。ご支援のおかげで、現地開催を盛況裡に終えることができました。厚く御礼申し上げます。

本学会は脳神経外科領域における脊椎内視鏡手術を安全に普及することを目的として、2011年に第1回大会が開催されました。現在までに脳神経外科領域における低侵襲・内視鏡脊髄神経外科を網羅する学会として、最新の手術機器・技術を学ぶ情報交換の場として

発展してまいりました。主な学術領域は脊椎脊髄外科であり、日本脳神経外科学会の関連学会に認定されています。今後に一般社団法人化を予定しており、私自身は学会理事として運営に携わっております。

私自身が大会長を務めさせていただいた今回の第14回日本低侵襲・内視鏡脊髄神経外科学会は、2024年7月26日-27日の2日間にわたり、千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市）にて開催させていただきました（図1）。学会テーマを「検証と実践」として、これまでの臨床データ・研究成果を検証し、そして次世代に繋ぐために実践していく最良の機会となることを目的として学術プログラムを企画しました（図2）。外科医の成長においては、先輩・師匠から学ぶだけでなく、自ら最新の技術・考えを柔軟に取り入れていくことが大事だろうと思います。一方で、自分の技術・考えに固執することは、時に柔軟性を失い、最終的に外科医としての成長が停滞する危険があります。今回の学術集会では、低侵襲・内視鏡脊髄神経外科全般について手術適応、

技術、そして医療安全の観点から大いに議論していただきました。シンポジウムとしては、「脊椎内視鏡の到達点」、「外視鏡手術：基本特性と将来性」、「顕微鏡手術：最善であるために必要なこと」、「術中支援・画像の工夫：合併症回避のための最善策」、そしてプレナリーシンポジウムとして「脊髄神経外科の低侵襲性と根治性のベストバランス」を企画しました。その他にも、共催セミナー（図3）、ディベートセッション、教育セミナー（図4）、そして一般演題と盛りだくさんの内容となりました。3会場での同時進行となりましたが、各会場ともに熱のこもった活発な議論をしていただきました。

今回の開催にあたり、大阪医科薬科大学脳神経外科教室の教室員・同門先生方には開催準備から当日の運営まで多くのご尽力をいただきました（図5）。武田総合病院副院長の川西昌浩先生（本学第37期生）には、教育セミナーでの講演・実技指導、そしてディベートセッションでの座長など、多方面にわたりご支援いただきました。ここに改めて感謝申し上げます。



川西昌彦先生

図3：鰐淵昌彦先生（本学脳神経外科学教室教授）の座長による共催セミナー



図4：川西昌浩先生（武田総合病院副院長、本学第37期生）による教育セミナー

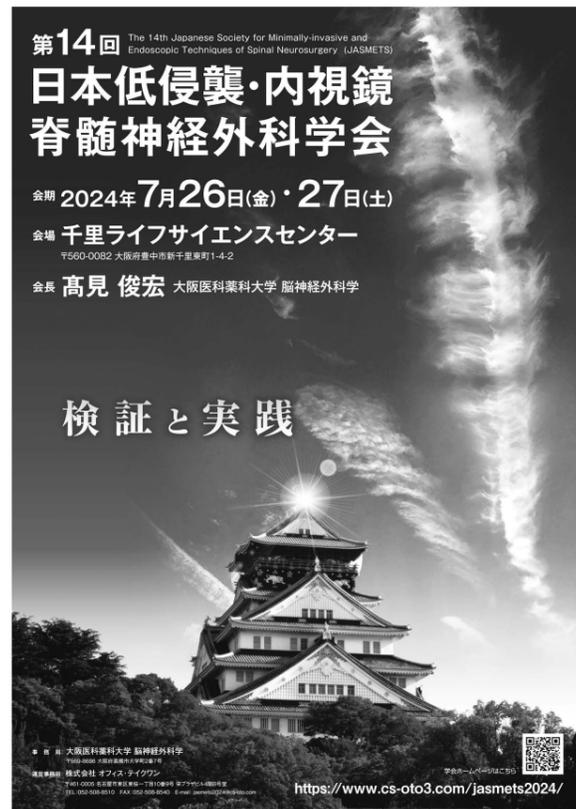


図1：—第14回低侵襲・内視鏡脊髄神経外科学会— A2 ポスター



図2：開会挨拶（筆者）



図5：閉会式後の本学脳神経外科学教室の集合写真

学会報告 ● ● ●

第32回硬組織再生生物学会 学術大会・総会を終えて

文責／大阪医科薬科大学 医学部
口腔外科学教室 井上和也

この度は第32回硬組織再生生物学会学術大会・総会の開催にあたり、仁泉会様から助成を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで大会を盛会に終了することが出来ましたこと、厚く御礼申し上げます。

硬組織再生生物学会は平成5年に硬組織及び関連組織細胞の研究、その研究技術の情報交換、および向上発展を目指す学会として創設されました。学会員は医師・歯科医師ならびに骨の研究を行う理工学系の研究員から構成されています。会員数は2023年現在で250名となっております。新しい知識の獲得を目的に一年に一度全国大会を開催しています。また年2～3回の英文誌の発行（Journal of Hard Tissue Biology）を行いImpact Factorも獲得している学会です。

第32回硬組織再生生物学会学術大会・総会を終えて

第32回硬組織再生生物学会学術大会・総会は2024年8月23日、24日で大阪医科薬科大学学Ⅰ・学Ⅱ講堂で開催いたしました。会当日は晴天で気温も35℃を超える中、北は北海道、南は台湾から73名の学会員の方が参加しました。

大会長は大阪医科薬科大学医学部口腔外科学講座教授・植野高章が努め、小職は大会準備委員長として会の開催にあたりました。23日は学術大会理事会を大阪医科薬科大学にて行った後に、阪急電車PRiVACEを貸し切り河原町まで移動し、京都・東華菜館にて役員懇親会を開催しました。



中部大学 山口誠二先生

翌24日は学Ⅰ講堂にて一般口演、特別講演、学会受賞記念講演、学Ⅱ講堂にてポスター発表が行われました。特別講演では中部大学生命健康科学部生命医科学科山口誠二先生に「表面化学処理によるチタ

ン金属への生体活性及び抗菌性付与」というテーマで、チタン金属に関する最新の知見を講義頂きました。生体親和性の高いチタンに対してヨウ素処理を施すことにより、骨との結合力や抗菌性が発現するという大変興味深い内容でした。一般口演発表には9演題、ポスター発表には16演題の演題が集まりました。骨の再生や薬剤関連顎骨壊死に関する基礎研究など、多岐にわたる研究発表が行われ、多くの議論がなされました。一般口演発表とポスター発表には厳正な申請の下、優秀賞が選出されました。優秀口演発表賞に、生体活性ガラスを創傷被覆材の研究を発表した大阪医科薬科大学口腔外科・高橋彩香先生が選出されました。高橋先生は現在大学院4回生で、今後控えている学位審査に向け、本賞の受賞は励みになったのではないかと思います。

本学会の開催にあたり、植野先生はじめ口腔外科スタッフには開催準備、当日の会場設営、会場運営、多岐にわたりご協力いただいたこと大変感謝しております。そして何より仁泉会様からのご支援なくては、本会の開催を成しえることは出来ませんでした。改めて感謝の意を表します。



優秀口演、優勝ポスター賞受賞者記念撮影



集合写真「医局員の皆様ありがとうございました」

支部だより ● ● ●

京都仁泉会 音楽の夕べ

文責／森本博子（学24期）

令和6年8月25日、京都仁泉会の恒例の音楽の夕べをホテルオークラ京都で開催しました。今年出演を引き受けてくださったブルーグラスカーネلزは、令和2年の音楽の夕べに出演をお願いしていたのですが、武漢で発生したコロナ感染のために延期を余儀なくされ、今年ようやく実現することができました。7月に入ってコロナウイルスの感染が再び拡大しはじめ11波の流行と報道され、また延期しなければならぬかとひやひやしていました。開催時刻の18時直前に突然にわか雨が降りだし、タクシーがつかまらず遅れた方、ずぶぬれになって駆け付けてくださった方などありましたが、出席予定の38名全員そろい、ようやく開催することができました。

開宴の前にこの春の叙勲で瑞宝中綬章を授与されました学23期竹中洋先生にお祝いの花束を贈呈しました。つづいて学14期の内田実先生の乾杯の発声で宴が始まりました。奥様方の出席も多く和やかな雰囲気の中ホテルオークラのお料理をいただきながら各テーブルでは会話がはずんでいました。アルコールも適度に回り気分

がよくなったところで演奏が始まりました。

ブルーグラスカーネلزは女性二人のボーカルを中心の5名のグループで、関西中心にライブハウス等で演奏活動されています。

オープニングは Foggy mountain breakdown でスタート、軽妙なトークで盛り上がりました。カントリーソングばかりでなくテネシーワルツや Top of the world など懐かしい曲が演奏され、手拍子や口ずさんだり、楽しむことができました。締めくくりは Rose garden。鳴りやまない拍手に答えて Take me home country road をアンコールで歌っていただきました。

演奏の後、11月の学術講演会の案内が北岡治子先生からあり、最後は寺村和久先生の締めのあいさつでお開きとなりました。

尚、来年は8月の最終日曜日、8月31日に開催予定です。



出席者（敬称略）：内田実夫妻、太田稔（学12期）／島田真久夫妻、上原従正夫妻、杉之下公子（学14期）／岡田勝彦、今村喜久子（学17期）／岡田豊子、上原春男（学21期）、大藪博、舟木亮夫妻（学22期）・梶野興三夫妻、竹中洋夫妻、田代博夫妻、西本孝夫妻とお嬢様（学23期）／森本博子（学24期）／浅野明美、石原正、野田春夫（学25期）／水谷均夫妻（学26期）／蘆田潔、蘆田ひろみ、北岡治子、萩原暢子（学28期）／佐々木宏和（学32期）／瀧井道明（学36期）／寺村和久（学37期）／柏木元実（学39期）

支部だより ●●●●

仁泉会松原市支部会開催報告

文責／可児弘行（学45期）

8月3日に大阪市天王寺区の都シティホテル大阪天王寺にて松原支部会を久しぶりに開催いたしました。支部長の松本泰仁先生（20期）の挨拶ののち樋上泰成先生（43期）に乾杯の挨拶をしていただき、開宴いたしました。その後、参加者全員より近況報告をしていただき懇談をし学生時代の思い出から現在の仕事の話など楽しい時間を過ごしました。最後に全員で記念撮影を取ってお開きとなりました。松原支部会員は総勢で9名です。今度、近隣の南河内の支部と合同でしませんかの意見がありました。近隣の支部会の先生よろしければ可児のメール info@kanix-ray.com までご連絡ください。



上段左から：廣渡 要（学51期）穂積知美（学43期）、岩倉研二（学44期）、高橋 猛（学49期）、上田航平（学56期）
下段左から 可児弘行（学45期）松本泰仁（学20期）、樋上泰成（学43期）、

支部だより ●●●●

令和6年仁泉会広島県支部 総会・懇親会報告

文責／貞岡達也（学35期）

令和6年9月28日（土）18時30分より、ホテルグランヴィア広島21階スカイバンケットにて、令和6年仁泉会広島県支部総会を開催しました。平賀正文幹事の司会で、総会開催に先立ち物故会員に黙祷を捧げ、その後支部総会が始まりました。最初の小野誠治支部長（仁泉会理事）の開会挨拶では、コロナの影響で4年間支部総会が開催できなかったこと、今回は学術講演会はなしで、仁泉会本部からお越しになれる安藤嗣彦理事長のお話をお聞きすること、広島県の会報誌「暁映ゆる」について今年度中には発刊したいとお話がありました。続いて長尾光史幹事より会計報告、清水泉幹事より監査報告がありました。

懇親会に入り、平田忠範先生の乾杯のご発声の後、ご来賓の仁泉会理事長、安藤嗣彦先生よりご挨拶をいただきました。大学が100周年を迎えること、頭頸部がんの治療に有効な関西BNCT共同医療センターへの期待などのお話を伺いました。会員慶事では傘寿、喜寿、古希の先生方の紹介、4年間総会を開催していなかったためその間に喜寿と傘寿をお迎えなられた先生が3名おられました。

その後恒例の近況報告が始まり、昔の大学のこと、

定年後の生活のこと、仕事のこと、子供のこと、健康のこと、料理・マラソンなど趣味の話、医師会のことでは個別指導の対応についてのレクチャーなどもあり、大いに盛り上がりました。最後に記念写真を撮り閉会となりました。出席者は学19期から学54期まで35年差の同窓生が集まり、さらに呉地区、東部の福山地区からの参加もあり実りのある総会・懇親会となりました。

2次会は安藤理事長を囲んで仁泉会の会費徴収率のこと、大学の未来、地方支部の未来、なぜ阪神がクライマックスに進み、カープが9月に凋落したかなど話が尽きませんでした。2次会を終えてホテルを出ると野球のユニフォームを着た人達でいっぱい、巨人がカープを破りセントラルリーグ優勝を果たしたので、広島駅、駅直結のホテルではタクシーを拾うことが困難な状態でした（涙）。

来年の総会は例年通り6-7月ごろの開催となる予定ですので広島県の会員の先生方、ご参加をお待ちしています。

参加者は24名（敬称略）

平田忠範（学19期）、安藤嗣彦（学20期）、豊田秀三（学22期）、松野 堅（学23期）、飯島崇史（学25期）、小野誠治（学28期）、清水 泉（学28期）、橋本正樹（学28期）、岡東周一郎（学31期）、伊達幸生（学32期）、木村佳子（学35期）、貞岡達也（学35期）、湯川 修（学36期）、平賀正文（学38期）、金吉亜紀子（学38期）、津田幹夫（学43期）、長尾光史（学44期）、芳谷伸洋（学45期）、浜井洋一（学46期）、藤村憲崇（学49期）、谷 充理（学50期）、平田裕二（学52期）久保田益亘（学54期）、梶川 博（特別）でした。



仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会のご案内

仁泉会大阪府支部連合会主催で産業医講習会を下記開催いたします。

参加ご希望の先生は、仁泉会ホームページをご覧ください、参加フォームもしくは FAX にてお申込みをお願いいたします。原則、先着順とさせていただきますがお申込が多数の場合は、①大阪府連会費納入者 ②仁泉会会費納入者を優先させていただきますので何卒よろしくお願い申し上げます。

参加受付をさせていただきました先生には追って、講習会のご案内をお送りさせていただきます。

- ・ 名 称：第1回仁泉会大阪府支部連合会 産業医講習会
 - ・ 開催日時：令和7年2月8日（土）午後3時から午後5時まで
 - ・ 会 場：大阪府医師協同組合 8階 大ホール
〒542-8580 大阪市中央区上本町西3丁目1番5号
 - ・ 受講料：仁泉会会員 3,000円（非会員 5,000円）
 - ・ 参加資格：日本医師会認定産業医
 - ・ 受講予定数：160名
 - ・ 内 容：
プログラム①演題：「化学熱傷は恐ろしいー職域における労働衛生管理の大切さー」
講師：河野 公一先生(学21)大阪医科薬科大学 名誉教授
プログラム②演題：「中高年労働者のアイフレイルと視覚障害」
講師：大須賀 翔先生(学60)大阪医科薬科大学 眼科学教室 講師
 - ・ 単 位 数：生涯研修（専門）2単位
 - ・ 申込み等：
事前受付：①参加申込用紙に記入の上、
仁泉会事務局まで FAX（072-682-6636）にて受付。
②仁泉会ホームページ上の参加 web 申込フォームより受付。
- 申込用紙は「大阪医科薬科大学仁泉会」ホームページからダウンロード、または仁泉会事務局までご連絡（tel：072-682-6166）下さい。
- ・ 問い合わせ先
仁泉会事務局（tel：072-682-6166 e-mail：info@jinsenkai.net）まで。

クラス会だより

学部14期同窓会(36会)開催報告

文責／児玉 隆（学14期）

今年の同窓会は大阪が当番となり、令和6年5月18日（土）リーガロイヤルホテル大阪にて、13名の先生方と家族を含めて16名の皆様に開催しました。

愛知県から来阪されました神谷鋼彦先生からは叙勲の内祝の素晴らしい記念品を全員に頂戴しました。

会食では先生方の現状報告があり、二次会ではお酒も入り、夜遅くまで楽しい語らいが続きました。

翌日のエクスカージョンは旧淀川に出来た中之島を挟む堂島川と土佐堀川を若手落語家の案内とトークで巡るリパークルーズを楽しみました。

来年は昭和100年、昭和36年入学の私共は卒後60年の節目を迎えます。京都の先生方がお世話して下さいます。



大阪医大36会 2024年5月18日 於 リーガロイヤルホテル

仁泉ひろば

jinsen-park

大阪医科薬科大学 競技スキー部 創部70周年記念祝賀会

文責／新井基弘（学36期）

今年度、大阪医科薬科大学競技スキー部は創部70周年を迎えました。令和6年7月6日 新阪急ホテルにて70周年記念祝賀会を開催いたしました。OB/OG会83名、現役学生44名、来賓1名の128名（内3名はzoom）の方々が参加されました。最高齢の名誉会員学8期 柘岡 進先生、宮本 一先生から、今年度の新入部員まで多くの顔ぶれが揃いました。

祝賀会は司会を学36期 新井基弘先生、学52期 塗隆志先生が担当され、競技スキー部部长 学36期 朝日通雄先生（写真1）の開会宣言と、OB/OG会会長 学28期 萩原暢子先生（写真2）の開会の挨拶で始まりました。

部長の朝日通雄先生からは、70周年の祝辞を頂戴しました。これまで朝日先生は陸上競技をやってこられ陸から雪山にシフトチェンジした後に、スキー部の部長に就

任されたこと、そして西医体、関医体でこれまで好成績を取ってきた当クラブは、学生が勉強のみならず、部活動にも力を注ぎ、結果を残していることにエールを注がれました。

続いて萩原先生から、コロナ禍があげて大阪医科薬科大学が西医体冬季大会の主管校を無事に務めあげたこと、会長ご自身が西医体に応援参加されたエピソードが披露され、祝賀会に多くのOB/OGが参加されたこと、日ごろのOB/OG会の活動に多大な援助協力を頂いたことに感謝を述べられました。また、祝賀会に先立ってOB/OG会総会が開催され昨年度の会計決算、今年度の予算、活動計画が承認されたことの報告がなされました。実は会長挨拶の時に、多くのOB/OGが久しぶりの再会のためだと思うのですが会場の後方がざわついていました。萩原会長は参加者に向かって「静かにしなさい」と一喝されました。さすが学校の先生（京都ノートルダム女子大学 教授）だと実感しました。

そして、祝賀会実行委員会を代表して学48期 白岩俊彦先生（写真3）から「伝統を繋ぐ」と題しての挨拶をいただきました。そしてお亡くなりになられた会員の先生方に対して黙祷を行いました。

祝賀会の乾杯は、式次第では学8期 柘岡 進先生（写真4）の予定でしたが、先生のたつての希望で学8

期の宮本 一先生（写真5）にお願いしました。現役時代にアルペン競技の滑降、ノルディック競技のリレーで数々の優勝をされ、ポイントゲッターであったとの紹介を受け、宮本先生が乾杯のご発声をされ祝賀会がスタートしました。

祝賀会ではOB/OG会前会長である学21期 後藤研三先生（写真6）にご挨拶をいただきました。後藤先生から会長として就任期間中に西医体、関医体での優勝、準優勝を勝ち取ってくれたことに感謝の気持ちを述べられました。会長交代時がコロナ禍と重なり挨拶ができなかったこと、OB/OG会としても活動に制限がかかりもどかしい時間が長く続いたことをお話しされ、しかし、この経験から皆が得たことを生かし、これからの活躍を期待して挨拶を閉められました。

続いて参加した各学年から代表のOB/OGより挨拶をいただきました。学50期 森 泰輔先生（写真7）が京都府立医科大学産婦人科学 教授に就任された報告がありました。同期のOB/OGから祝福の挨拶と記念品が贈呈され、森教授から挨拶と謝辞をいただきました。

来賓の高橋伸嘉コーチ（写真8）からの挨拶では、高橋コーチはコロナ禍の5年間で他大学のスキー部では部員の激減という事態が起こっていること、これまで、大阪医科薬科大学競技スキー部のコーチとして指導さ

れてきたことの感想をお話しいただきました。現役部員に、努力を継続することが競技の中で大切な要素であると訓示いただきました。

今年度から会計に就任された学43期 尾崎誠重先生（写真9）から挨拶をいただきました。尾崎先生は軽快なトークで参加者の心を掴んだところでOB/OG会への参加、協力を呼びかけてさらに会場の笑いを起こして、漫談と間違えそうでした。さすが生駒地区医師会副会長でした。

祝賀会も盛況のうちに時間となり、閉会の挨拶をOB/OG会副会長 学36期 新井基弘先生（写真10）からいただきました。新井先生は初代会長であられた故榎原敬郎先生のお言葉で、榎原先生が大学からスキーを始めた自分がリレーで優勝できたのは「やる気と努力と根性、精神力やろ」と言われていたことを現役部員に紹介され、OB/OG会として引き続き応援していくことを話されました。そして、大阪医科薬科大学競技スキー部の益々の活躍と、参加された方々のご健勝を願って70周年記念祝賀会は無事に閉会となりました。

祝賀会の開催にあたり実行委員会のみなさん、また、ご尽力いただいた皆様、ご参加いただいた皆様に心よりお礼を申し上げます。また、残念ながらご欠席された皆様方には、成功裏に終了したことをご報告申し上げます。

写真1



部長 朝日通雄 先生

写真2



会長 萩原暢子 先生

写真3



白岩俊彦 先生

写真4



柘岡 進 先生

写真5



宮本 一 先生

写真6



前会長 後藤研三 先生

写真7



森 泰輔 先生

写真8



高橋 伸嘉 コーチ

写真9



尾崎誠重 先生

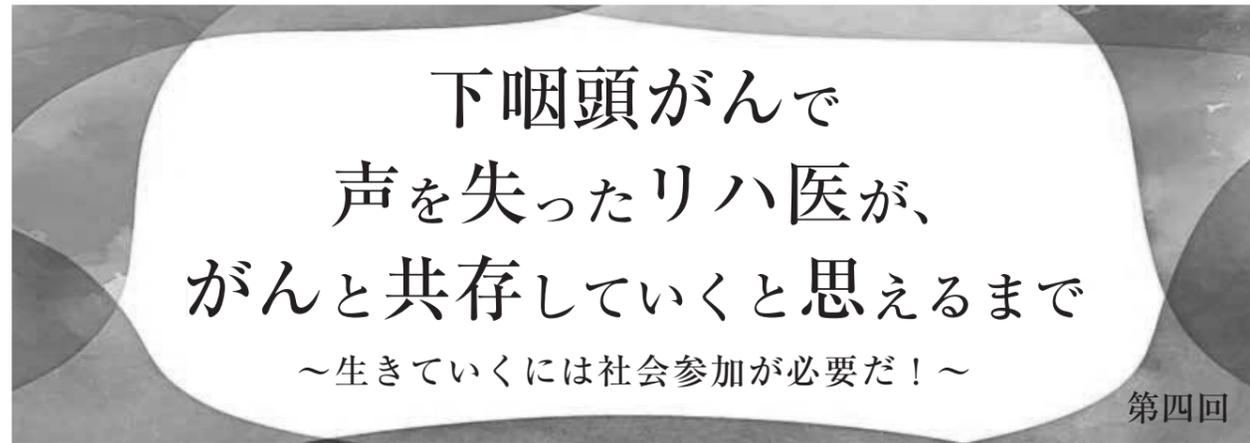
写真10



副会長 新井基弘 先生



集合写真



文責／太田利夫（学31期） 掲載：メディカ LIBRARY from メディカ出版 <https://ml.medica.co.jp/series/rihai>

#006: 前向きに生きる

音声のない生活とコミュニケーション

●コミュニケーションと社会的参加

手術後のコミュニケーションツールは筆談でした。社会的には引きこもり、開き直って人との接触を避けている状態でした。

喉頭を摘出することで、音声は消失し、音声によるコミュニケーションが不可能となりました。当然、日常生活への障害だけでなく、仕事や趣味への影響も出ました。そして、社会生活・地域活動への参加に問題が生じるといったネガティブな状況に陥ってしまいました。

●喉頭摘出者にとっての問題点

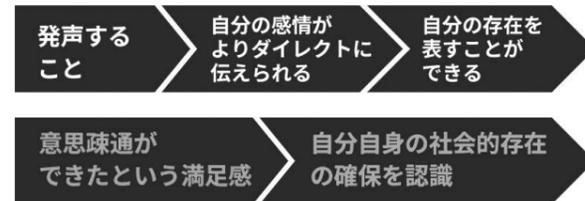


仕事や会議への参加はまだ不十分で、どちらかというのを避けていました。

発声することは、自分の感情がよりダイレクトに伝えられます。それは、自分の存在を表現することができます。意思疎通ができたという満足感を得ることができ、自分自身の社会的存在の確保を認識するのです。すなわち、引きこもらない、社会的に参加するということです。私の経験から、生きていくには社会への参加が必要です！ コミュニケー

ション能力が上がると、社会的活動も広がります！

●喉頭摘出者にとっての発声の重要性



コミュニケーションツールを得た社会生活参加・活動について

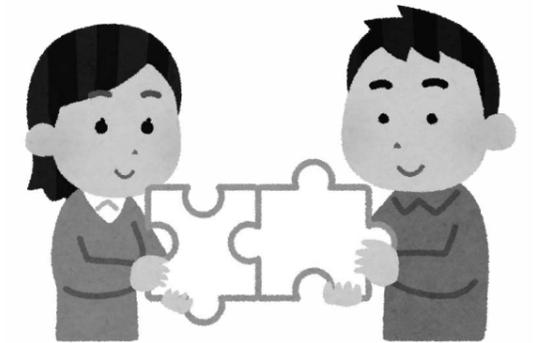
それが電気式人工喉頭と出会い、音声でのコミュニケーションが可能となりました。

しかし喉頭摘出者の問題点として、電気式人工喉頭を使用しても、人工的な機械音を発声する人工喉頭器を特異な目で見られることへの恥ずかしさによって、行動範囲が縮小することが挙げられます。喉頭摘出患者への周囲の理解不足による孤独感からくるいら立ちや、失声によって人との交流を断念せざるを得ないことに対するつらさなどのため、社会から孤立してしまいます。

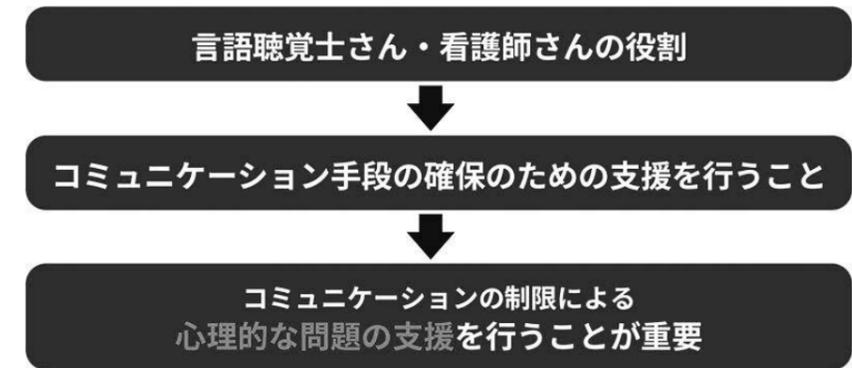
“話すこと”は、自分の気持ちを相手に伝え、“お互いに意思の疎通を図る”ことです。人間として生きていくために、最も大切なことであるといわれています。しゃべることのできなくなった人々にとって、その苦痛と絶望感は健康者の想像以上に深刻なものです。それはまさに、自分が陥った状況でした。

妻の感じたこと

第三者の視線はどこに行っても気になりますが、立場を変えると私たちもきっと同じだと思います。“気にしない”をモットーに、相手に「伝えよう」とする気持ちで接すると、相手も真剣に向き合おうとしてくれるようになりました。夫が「恥ずかしいから」と私に伝えさせようと話しかけてくれるので「自分で話してみよう」と、言うことにしています。



喉頭摘出者への支援としての、医療者みなさんの役割ですが、コミュニケーション手段の確保だけでなく、心理的な問題の支援を行ってほしいと切に願います。これは患者さんだけでなく、家族への心理的な援助が欠かせません。



次第に電気式人工喉頭をそれなりにうまく使えるようになり、周りの人にすこしずつ認めてもらえるようになりました。

その結果、次第に自信が付き、対人的な仕事や会議に積極的に参加するようになりました。徐々に前へ進んでいます。

先日、脳梗塞で失語症になった患者さんと、リハビリ会議をする機会がありました。「しゃべれないのが困る。恥ずかしい。くやしい」とたどたどしく訴えていました。私が「自分も（電気式人工喉頭を使った）機械的な声で恥ずかしいけど、こうして仕事ができますよ」と言ったところ、突然泣き出して「ありがとう」と言ってくれました。仕事をしてよかった！とつくづく思い、もらい泣きするところでした。

さらに友人の勧めで、電気式人工喉頭を利用して講演を行うまでになったのです。最初は不安でいっぱいでしたが、学生さんの感想文に勇気づけられながら、まずは30分、次は50分、そして1時間と休憩なしにお話ができるようになりました。今は言語聴覚士の養成校で対面での講演と質疑応答まで行っています。

妻の感じたこと

なにをするでもなく、その日その日を生活していたところ、講演依頼がありました。本人は、はじめは戸惑っていましたが、家族みんなが「いいことだ！目標ができた」「お父さんの話がみんなのためになるなら引き受けるべき！」と、背中を押すことにしました。その結果、パソコンを利用して資料づくりに励み、生き生きとはじめました（凝り性ですから）。

友人の声

言語聴覚士や看護師の養成校で、太田さんに講演を行ってもらうこと企画し、3校の養成校で講演を実施しました。どの回も、多くの学生さんに多くのことを感じ理解してもらう機会となりました。病と闘いながら、自分にしかできない役割を引き受け、それを前向きにまっとうしている太田さんの姿勢は、安易に考えていた病のイメージを圧倒し、障害のある人を支援する専門職の使命に素直に向き合うきっかけを与えてくれました。

もう一度言います。音声によるコミュニケーションは重要であり、「生きていくには社会参加が必要！」です。 ～ 続きます ～

開業しました!

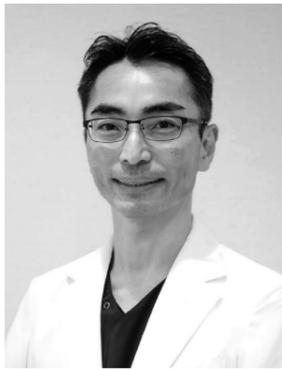
大野克記先生

平成11年卒(学48期)
在学中の所属部活/ゴルフ部

自己紹介をお願いします

本年7月1日から兵庫県西宮市甲陽園にて、かつ整形外科・手のクリニックを開設することになりました。

甲陽園は小学生時より住み、以後高校を卒業するまで市内の学校で教育を受けてきました。大阪医科大学に入学後も、卒業するま



での間、実家のあるこの地から高槻まで電車通勤いたしました。所属クラブはゴルフ部でした。いわゆる「打ちっぱなし」のクラブ練習日は、ゴルフクラブ数本を持って電車通学し、授業終了後に先輩の車に乗せていただいて練習場に向かったこともよくありました。阪神淡路大震災の日は、ちょうど解剖学の追試験日であり、大学に行けなかったことも思い出されます。大学まで遠方な分、色々大変ではありましたが、この甲陽園という場所が本当に大好きで、住み慣れたこの地で医療に貢献できることを大変嬉しく思っております。

私は整形外科の中でもサブスペシャリティーとして手外科を専門としております。なぜ手外科になったのかは、小学2年生の話に遡ります。休み時間に鉄棒で遊んでいた際につかみ損なって、右橈尺骨遠位端骨折を来しました。あの時の激痛と変形した自分の手関節は今でも鮮明に覚えています。学校近くのクリニックで鎮静下に徒手整復を受けるも矯正できず、病院に紹介され観血的骨接合術をうけました。受傷時に全く動かなかった右手が、手術後に何の後遺症もなく治癒したことに感激し、医師になる前から手外科医になりたいと思っておりました。幸い、多くの先生のご指導を賜り、手外科医として現在に至ります。

2022年3月までに、大阪医科薬科大学整形外科の手外科班として約9年間診療し、その後西宮協立脳神経外科病院整形外科でも手外科手術を中心に2年間勤務いたしました。医師としては25年になりますが、手外科を含めたこれらの経験を、微力ながらも地域医療に活かせたらと思っております。

ご開業のきっかけについて

手外科に携わるようになり、患者さんの中には、手術で最善が図れてもさまざまな事情で適切なリハビリができない状況となり、残念に感じることもしばしば経験してきました。手外科については、術後リハビリの機能改善に関わる重みはかなり大きいと考えています。このため、手外科が初療から診断できて手術や術後のリハビリまで一貫して治療を行いたいという思いで開業を決意しました。

勤務医の時は、紹介状を持参される方や、自分の疾患についてある程度情報を入れて来院される方がほとんどでした。開院してごくわずかな患者さんしか診ておりませんが、来院される患者さんと話をしていると、主訴に対して一度も医療機関に相談されたことがない方がいらっしやいます。そもそも病識をお持ちでないので、一から説明していくのに労を要しますが、初療に携わることができることにも喜びを感じております。



クリニックの特色

当院では手外科については日帰り手術が行えるように手術室(局所麻酔)を備えました。当院でできることは極めて限られますが、手術療法・保存療法のいずれであっても、診断後に治療が開始され、リハビリを含めたコメディカルとより身近に連携がとれることを活用できればと思います。もちろん、手に関することのみならず、整形

外科全般に関して地域医療に貢献させていただいております。

まだ五里霧中の段階で、目の前のことに対処することが精一杯な状況です。これまで多くの方々のサポートがあり、現況があることに感謝の気持ちを忘れず、先輩の先生方のご指導を仰いで、めげずに診療に邁進していきたいと思っております。今後ともよろしくご厚意申し上げます。



かつ整形外科・手のクリニック

●所在地
〒662-0016
兵庫県西宮市甲陽園若江町6-1

●電話
0798-71-1070

●FAX
0798-71-1071

●診療科目
整形外科・リハビリテーション科

●診療時間
午前 9:00~12:00
12:00~16:00(手術・予約制)
午後 16:00~18:30
休診日:木曜・土曜午後、日曜、祝日

●ホームページ
<https://katsu-seikei.jp>



かつ整形外科・手のクリニック

Katsu Orthopedic Clinic

開業しました!

平岡やよい先生 (学 47 期)

名称 宝塚こころのクリニック
 住所 〒665-0842
 兵庫県宝塚市川面5-10-25
 ユニバーサル宝塚1F
 電話 0797-86-1556
 FAX 0797-86-1557
 診療科目 心療内科、精神科
 診療時間 午前 9:00~12:30
 午後 16:00~19:00
 (月曜 14:00~17:00
 木曜 13:30~16:30)
 休診日 水曜、日曜、祝日、月曜午前、土曜午後
 E-mail hiraoka@takarazuka-cocolo.jp

開業しました!

野村昇平先生 (学 54 期)

名称 のむらこどもクリニック
 住所 〒538-0051
 大阪市鶴見区諸口4-8-17
 電話 06-6115-5777
 診療科目 小児科、アレルギー科、
 小児皮膚疾患
 診療時間 午前 8:30~11:30
 午後 15:30~18:30
 (14:00~15:30
 予防接種、乳児検診、専門外来)
 休診日 水・土曜午後、日曜、祝日
 仁泉会の先生方に一言
 たいへんお世話になります。
 よろしくお願ひします。

開業しました!

井手健太郎先生 (学 59 期)

名称 セブンメンタルクリニック
 住所 〒531-0041
 大阪市北区天神橋7-6-3
 Osaka Metro 天六ビル3F
 電話 06-6355-6777
 FAX 06-6355-6778
 診療科目 精神神経科
 診療時間 午前 9:30~12:00
 午後 15:00~18:00
 (月曜は17:00まで水曜は16:30~20:00)
 休診日 木曜、日曜



冊子 抜

旭日双光章を受章された刈谷隆明先生(学 22 期)の記事が高知県医師会報第674号に掲載されていましてご紹介いたします。

令和6年7月1日発行

高知県医師会報 第674号

(5)

刈谷隆明 先生 旭日双光章 受章 おめでとうございます

去る4月29日に令和6年春の叙勲の受章者が発令され、高知県医師会の関連では、前常任理事でございます刈谷隆明先生が旭日双光章を受章されました。

5月7日(火)には、高知県庁において知事からの伝達式が執り行われました。

また、5月10日(金)には、皇居において拝謁が執り行われました。

高知県医師会といたしましても大変誉れでございました。

一般社団法人 高知県医師会 会長 野並 誠二



旭日双光章受章記念祝賀会

会員著書

健康寿命をのばす! 整形外科医のカラダの痛み相談室

著者 井尻慎一郎 (学31期)
出版社 創元社
価格 1,980円 (税込)



ぎっくり腰は冷やす? 温める?

サプリメントは膝に効く? 何科に受診すればいい? 痛みとしびれはどう違う?

5万3000人以上の患者に寄り添ってきた医師がやさしく解説します!

仁泉会の先生方へ

神戸市垂水区で井尻整形外科を開業している学31期の井尻慎一郎です。

このたび「健康寿命をのばす! 整形外科医のカラダの痛み相談室」(創元社 1980円税込)を発売いたしました。週刊実話に2019年8月から2024年4月まで5年弱「痛みの悩み相談室」として毎週連載していただいていた記事を編集し、240頁の一冊にしたものです。主に整形外科関連の健康に関する話題を解説していますが、健康寿命やフレイル、ロコモ、サルコペニアなど整形外科を越えた領域の内容も多数含んでいます。書店でもアマゾンなどでも購入可能です。

なお、この本は全国の図書館のおおもとである、図書館流通センターが全国の各図書館に推薦する「新刊急行ベル」に選ばれました。少なくとも全国700くらいの図書館に納入される予定です。各出版社が毎月出版する本の中でもこの新刊急行ベルに選ばれる本は多くないそうです。

ご一読いただき、ご批評を賜れば幸いに存じます。

会員著書

すべてが本学病院の教育関係者による共同執筆! 「診療参加型臨床実習サバイバル 臨床実習生のミニマムエッセンス」

医学教育センター 瀧谷公隆 (学38期)

卒業生の先生にとって、「診療参加型臨床実習」とは聞きなれない単語かもしれません。

近年の臨床実習では、学生は各診療科で医療チームの一員として、実習を行います。

2023年に医師法が改正され、学生の医行為(採血・静脈確保・縫合など)が一定の条件下で医業とみなされることになりました。この法改正は診療参加型臨床実習に追い風となり、学生時代から医行為を行うことで、円滑に臨床研修に移行できることを目指しています。しかし、講義ばかりの授業を受けていた学生にとって、医療チームの一員として参加する臨床実習は非常にストレスフルです。そのような学生に対して、臨床実習の乗り越え方を各診療科の先生に執筆していただきました。今までに、臨床実習の学生向けの書籍はありませんでした。おそらく昭和・平成時代の学生を経験した先生にとっても、最近の医学教育を知る上で非常にわかりやすい内容となっております。是非、本書籍をお手元に取りいただき、後輩の学生がいかに臨床実習を頑張っているかを見てください。

診療参加型臨床実習 サバイバル 臨床実習生のミニマムエッセンス

監修 瀧谷公隆
大阪医科薬科大学医学教育センター
専門教授・副センター長

編集 駒澤伸泰
香川大学医学部地域医療共済推進
オフィス 特命教授



日本医事新報社

電子版付
※本のシリアル番号で
※印刷版と併せて
※閲覧いただけます

新聞切抜

全国保険医新聞 8/5.15日号に学31期 田村 功先生の漫画が掲載されましたのでご紹介させていただきます。

ミニレクチャー
ぼん太(兵庫)

「羅を動か
る兄さんに
は遺跡を
目代コイン
箱に売って
盗みでは
怪しいと
遺跡は美
がった。広
間の滞在
。古代遺
歴史の力
正しく神
の妄想を播
に十分だ。
の気が付い
のまり素顔
もな写真
いる。こん
本人を助け
はぎつと良
い。

東北絆まつりで みちのくの心意気を発信

中川 国利(宮城)

東北6県の夏祭りが勢ぞろいする「東北絆まつり」が、6月8、9日仙台で開催された。絆祭りは東北各地の祭りを集めたもので、今年も仙台市を中心に開催された。初日には航空自衛隊松島大演習を願う、当初は「東北六魂祭」として2011年「フルインパルス」による仙台で開催された。以後は「曲芸飛行が披露された。ま

た仙台七夕まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、福島わらじまつりの踊りが、仙台的の吹流しが飾られたアーケードを囃子や掛け声と共に練り歩いた。また特設ステージには福島大わらじ、秋田竿灯、青森ねぶたが展示され、夜の帳が下りた19時過ぎから灯入りの演舞が行われた。

翌日は各県の祭りが市内の目抜き通りをパレードし、見物客が全国から押し掛

た仙台的の吹流しが飾られたアーケードを囃子や掛け声と共に練り歩いた。また特設ステージには福島大わらじ、秋田竿灯、青森ねぶたが展示され、夜の帳が下りた19時過ぎから灯入りの演舞が行われた。

翌日は各県の祭りが市内の目抜き通りをパレードし、見物客が全国から押し掛

医師にたまたま11時間の勉強を頂いて、治療したものである。で、決して手軽な検査ではない。しかも費用は3〜5万円かかる。

新聞切抜

9月25日 信濃毎日新聞朝刊に学65期上迫隼太先生の記事が掲載されましたのでご紹介させていただきます。
学21期 高島俊夫

松本協立病院

「失神外来」県内外から受診

開設1年余 少ない専門外来「患者の道しるべに」

心疾患原因の場合も「見逃さないで」

松本協立病院（松本市）が昨年7月に「失神外来」を開業して1年余になり、これまで県内外の50人ほどが治療を受けた。失神は不整脈や自律神経の異常などにより、脳全体の血流が低下して突然意識を失う症状で、通常数秒から数分以内に後遺症なく意識が戻る。約千人に6人の割合で発症し、国内で年間80万人ほどの患者がいるが、専門外来は国内でも少なく、県内でも珍しいという。担当の上迫隼太医師（34）は「ここを受診したらいいか分からない患者さんの道しるべになれば」と話す。

失神の原因を判断するために用いる「植え込み型心電計」

失神は血圧や心拍数の問題で生じることが多く、同病院では心臓病を専門とする循環器内科で診療に当たる。心臓疾患が原因で発症する場合は危険性が高く、不整脈、弁膜症などで脳に血液を送る機能が低下した状態を放置すると、5年後の生存率は約50%にまで低下するという。上迫医師は、意識がすぐに回復するため、受診しなかったり救急車をキャンセルしたりする例も散見されるが「見逃されると非常に危ない」と警鐘を鳴らす。

また、脳神経細胞の活動で突然意識を失う「てんかん」と思い込み、脳外科を受診する患者もいるという。的確な診断が求められるとす

診察では聴診器で心音を聞いたり、心電図やエコーを用いたりして検査。問診が重要だという。患者本人や目撃者などに倒れた当時の状況を聞き、原因を調べる。心臓疾患が原因の失神は予兆なく起きることが多いという。症状が出たタイミングの心電図から原因を特定できるように、体内に厚さ約3ミリ、長さ約4センチほどの「植え込み型心電計」も用いる。

上迫医師は、県内外から受診者が訪れ手応えも感じている一方、失神を危険と感じていない人も多く、危険性への周知が十分でないという。やっと思っているのは地味だが、失神の原因を識別することは社会的意義があり、しっかりと説明していきたい」と話している。失神外来の受診予約は同病院（☎0263・35・52000）へ。

本部だより

仁泉会三者懇談会 開催報告

文責 理事長 安藤嗣彦 (学20期)

去る令和6年7月27日(土)ホテル阪急インターナショナルにて三者懇談会が開催されました。母校の役員と教室を主宰される現役の教授の先生方と、仁泉会役員の三者懇談の場を10年ぶりに持ちました。猛暑の中、また学会等のご予定にある日にもかかわらず、植木実大学理事長をはじめ、多数のご参集をいただきました。改めて仁泉会役員を代表し感謝を申し上げます。



安藤理事長



植木 實理事長

前回の開催後、仁泉会の役員会は5度の役員改選があり、役員の入替わりがありました。その間にコロナ禍にも見舞われました。今回、母校の役員、教授の先生方と意見交換の場を持ったことは、今後の同窓会運営に大きな力となると考えております。会員の先生方におかれましても御理解をいただければ幸いです。

当日は、午後5時から開会をし、私が開催の挨拶をさせていただきました。その後、ご来賓を代表して大学理事長の植木 実先生からご挨拶をいただき、大学の近況と将来の展望について触れていただき



佐野浩一学長

した。その後、仁泉会副理事長の上野 豊先生より出席者のご紹介をさせていただきました。その後、学長の佐野浩一先生の乾杯のご発声で会が始まりました。

全員にご挨拶を頂きたかったのですが、時間の都合で叶わず、最近、教授にご就任をされた、萩森伸一先生、李 相雄先生、喜田照代先生、藤坂保仁先生に自己紹介とご挨拶を頂戴いたしました。各テーブルではお互いの自己紹介で始まり、母校の先生方からは大学や教室の現状について、仁泉会役員からは、同窓会の現状や事業活動などをお伝えすることができました。立場が違えど大学の発展を願う気持ちと同じくしていることが互いに伝わる、楽しく、有意義な会であったと感じます。今回の懇談会が大学と仁泉会の絆をさらに深め、今後の大学と仁泉会の発展に寄与することを祈念して簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。



李 相雄先生



萩森伸一先生



藤坂保仁先生



喜田照代先生

出席者

大阪医科薬科大学 ご来賓

- 植木 実先生 (理事長)
- 濱岡純治先生 (理事長補佐・副理事長)
- 佐野浩一先生 (副理事長・学長)
- 辻坊 裕先生 (常務理事)
- 岩井 一先生 (常務理事)
- 内山和久先生 (理事・医学部長)
- 大野行弘先生 (理事・薬学部長)
- 南 敏明先生 (理事・麻酔科学教授)
- 谷村慎哉先生 (理事)
- 星賀正明先生 (内科学Ⅲ教授)
- 森脇真一先生 (皮膚科学教授)
- 芦田 明先生 (小児科学教授)
- 植野高章先生 (口腔外科学教授)
- 近藤洋一先生 (解剖学教授)
- 中野隆史先生 (微生物学・感染制御学教授)
- 萩森伸一先生 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授)
- 廣瀬善信先生 (病理学教授)
- 李 相雄先生 (一般・消化器外科学教授)
- 喜田照代先生 (眼科学教授)
- 藤坂保仁先生 (腫瘍内科学教授)

仁泉会出席者(敬称略)

- 安藤嗣彦 (理事長) 学20期
- 上野 豊 (副理事長) 学27期
- 飯田 稔 (常任理事) 学18期
- 小野誠治 (常任理事) 学28期
- 御前 治 (常任理事) 学33期
- 福本敏子 (理事) 学24期
- 水谷 均 (理事) 学26期
- 米田 豊 (理事) 学30期
- 森川浩志 (理事) 学36期
- 上田英一郎 (理事) 学40期
- 大植 陸 (理事) 学40期
- 大西洋一郎 (監事) 学25期
- 竹中 洋 (参与) 学23期



会員訃報

次の会員の先生がご逝去されました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医13期 後藤 貢先生

平成20年8月4日肺炎の為に逝去。(88歳)。
昭和18年卒。
昭和30年に大阪市西成区に後藤耳鼻咽喉科医院を開院されました。
平成4年に閉院されるまで地域医療に尽くされました。
ご遺族 長男 高様

学部1期 林 泰三先生

令和6年4月30日老衰の為に逝去。(97歳)。
昭和27年卒。
旧北野中学校を卒業後、戦後の混乱期を経て大阪医科大学へ入学、予科、大学を卒業後、母校に残り前中央検査部診療教授をお務めになりました。母校功労教授。
ご遺族 妻 量子様

学部7期 南條 浩先生

令和6年7月18日間質性肺炎の為に逝去。(92歳)。
昭和33年卒。
母校卒業後、昭和41年より彰療会大正病院の産婦人科に勤務され、昭和62年に同病院院長、平成7年には彰療会理事長をお務めになりました。令和2年に会長にご就任され、地域医療に貢献をされておられました。
ご遺族 長男 亨様

学部12期 中村満次郎先生

令和6年2月1日老衰急性呼吸不全の為に逝去。(91歳)。
昭和38年卒。
母校卒業後、昭和39年にて大阪市北区に整形外科医院をご開業され、平成30年までの長きにわたり地域医療に尽力されました。
ご遺族 妻 和子様

学部13期 西浦 孝彦先生

令和6年6月25日肺扁平上皮癌の為に逝去。(84歳)。
昭和39年卒。
母校卒業後、昭和50年に医療法人西浦会 西浦病院を開院され、平成5年に西浦クリニックに名称変更されました。平成10年に同病院の理事長に就任されました。55年間1日も休まず地域医療に尽くされました。ご息女様が後を継がれたことを大変お喜びになっておられました。
ご遺族 妻 紀代子様

学部24期 三村 治先生

令和6年7月20日胃がんの為に逝去。(73歳)。
昭和50年卒。
母校卒業後、兵庫医科大学眼科学教室に入局。講師、助教授を経て、教授に選出されました。平成28年3月退職され、4月より神経眼科治療学講座の特任教授をお務めになりました。兵庫医科大学名誉教授。
ご遺族 妻 宏子様

学部33期 安田 英煥先生

令和6年8月27日骨髄異形成症候群の為に逝去。(68歳)。
昭和59年卒。
岡田クリニック(大阪市天王寺区)にて泌尿器科医として勤務されておられました。
ご遺族 妻 靖子様

第12期 中村隆平先生 中村満次郎先生 を偲んで

中村隆平先生は九州長崎のご出身で、大学卒業後は母校の眼科の医局に残り研鑽を積み、後輩の指導にあたりました。長崎で開業後は地元で眼科を開業され、眼科医会会長、島原医師会会長もされ、長崎県住民の健康増進に尽力しました。性格は豪放磊落で長崎普賢岳の大爆発でも地元のボランティアで大活躍されたと聞いております。島原の医師会長、公安委員長の職責を全うし、今年の初め電話で、元気か、と言うお電話があり、懐かしく互いに元気なことを喜び合いましたが、本年5月に亡くなられたとお聞きして驚いております。心からご冥福をお祈り申し上げます。

令和6年2月1日に私達の同級生の中村満次郎先生がご逝去され、謹んで哀悼の意を表します。中村先生は専門が整形外科で大阪北区天神橋で開業されていたと聞いておりました。以前大阪府医師会の代議員会でお会いしましたが、学生時代は中村先生、秋岡先生、丸山夫婦、山本先生、永井先生達が集まり楽しく談笑したものです。お二人のご冥福を心からお祈り致します。

昭和38年卒業 第12期 丸山俊郎



編集部より

会費納入のお願い

年会費
 令和6年度 10,000円
 令和5年度 10,000円
 令和4年度 10,000円
 納入のご協力をよろしくお願い致します。
 事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。ご投稿お待ちしております。

- 56巻1号(令和7年1月1日発行) 締切 令和6年11月末日
- 56巻2号(令和7年3月1日発行) 締切 令和7年1月末日

●送付先: 仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7
 E-mail: jim@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

編集後記

今号の中で、母校医学教育センター専門教授の瀧谷先生の著書の紹介が掲載されています。以前の学生臨床実習は見学が中心で実習の実現性が乏しいという指摘があり、さらに卒後臨床研修との継続性を図るための改革が行われています。採血や縫合、気管内挿管までかなり広い範囲で医学生の医行為が認められています。但し薬剤処方などできない行為もあります。小筆の時代は、ポリクリでは講義や見学がほとんどで

した。小児科では、患児の割り当てがあり、担当患児と会話を交わし、症例サマリーを提出した記憶がありますが、そのほかで実際に患者と接触することは稀なことでした。血圧測定もしたことがないものがいきなり医師になっていた頃とは隔世の感があります。今の学生が羨ましいような、そんな早うからせんでもええんちゃうの感じが入り混じっています。今の学生さんは大変でんな。(治)



令和7年度仁泉会学術集会助成申請について

令和7年度(2025年4月1日~2026年3月末日)において、仁泉会会員が主催する学会に対する助成申請の受付を**2024年12月1日**より開始いたします。(提出期限: 令和7年1月末日) 申請を希望する会員は、規程をご一読の上、申請書を事務局までご提出下さい。申請書は仁泉会ホームページからダウンロードいただくか、事務局までお申し出下さい。

仁泉会事務局
 jim@jinsenkai.net tel:072-682-6166 fax:072-682-6636

仁泉会ホームページ [大阪医科薬科大学仁泉会](#)

大阪医科大学 創立100周年 記念事業

数十年先の未来医療へ

大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

Super Smart Hospital スマート医療を推進する大学病院

「バイオフィリア」という概念を取り入れ、自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間を実現。

AIやロボットなど先端技術を活用し、効率的で「安全・安心な高度医療」を提供。

最先端の医療技術や高度な多職種連携の学びにより次世代を担う「優れた医療人を育成」。



Since 1927



1960年病院1号館完成



2022年A棟完成



2025年B棟完成

2027年全容完成予定

募集要項

募金目的▶ 大学病院新本館建築に係る資金、学生支援体制の充実
 募金目標▶ 10億円
 募集期間▶ ~2027年3月
 募金単位▶ 個人: 1口1万円、法人: 1口10万円
 顕彰▶ 個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします

特典▶ 個人: 10口以上、法人: 5口以上ご寄付をいただきました方は、健康科学クリニックの人間ドック(基本コース)1回分の無料受診券を進呈します。
 申込方法▶ 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。



大阪医科薬科大学基金

大阪医科薬科大学基金は、皆様からいただいた募金を積み立てて資金運用することによりさらに増やしていくもので、基金の拡充は、長期間にわたる「教育・研究活動」「良質な医療の提供」の強化に繋がります。

募集要項

募金単位▶ 個人: 1口1万円 法人: 1口10万円
 申込方法▶ 学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。
 【お問い合わせ先】募金推進本部 072-684-7243

【税制上の優遇措置】学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。

学校法人大阪医科薬科大学 募金推進本部 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7
 OMPU Tel: 072-684-7243 Mail: kikin@ompu.ac.jp Web: https://www.ompu.ac.jp/donation/index.html

至誠仁術を備える人材の育成をめざして
ご支援のお願い